

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## アジア・大洋州交流事業費

### 1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔ア〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（自主企画）〔ア〕
- (3) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕
- (4) 日本研究シニア客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕
- (5) 日本研究拠点機関助成〔ア〕
- (6) 日本研究スタッフ拡充助成〔ア〕
- (7) 日本研究リサーチ・会議等開催（助成）〔ア〕
- (8) 高砂熱学工業・日本研究奨励スカラシップ
- (9) 東南アジア元日本留生活動支援（AC）
- (10) 北京日本学研究中心派遣（北外）
- (11) 北京日本学研究中心派遣（北大）
- (12) 北京日本学研究中心招へい（北外）
- (13) 北京日本学研究中心招へい（北大）
- (14) 北京日本学研究中心（研究協力）
- (15) 中国社会科学院研究生院

### 2. 人物交流事業費

- (1) 地域研究フェローシップ〔ア〕
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔ア〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆者）〔ア〕
- (4) 日本研究フェローシップ（短期）〔ア〕
- (5) 知的リーダー・グループ招へい〔ア〕
- (6) 知的交流フェローシップ（次世代）（AC）〔ア〕
- (7) 知的リーダー交流（アジアリーダー）（AC）〔ア〕
- (8) 知的交流フェローシップ（招へい）〔ア〕

### 3. 催し等事業費

- (1) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・招へい）〔ア〕
- (2) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・派遣）〔ア〕
- (3) 知的交流会議等開催（助成）（AC）〔ア〕
- (4) 知的交流会議等開催（企画参画助成）（AC）〔ア〕
- (5) 知的交流会議等開催（主催）（AC）〔ア〕
- (6) アジア地域研究センター支援（催し等）（AC）
- (7) 沖縄国際フォーラム

### 4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔ア〕

## アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費	(1) 日本研究調査〔ア〕
------------	---------------

海外の日本研究機関・日本研究者に関する実態調査を行ない、ディレクトリーを作成する。

合計額 7,667,352円

	事業名	国	期間	事業内容
1	韓国日本研究調査	韓国	05.04.01～ 06.03.31	韓国における日本研究の実態調査を行なった。日本研究者、日本研究機関に関する情報を召集し、その調査結果を出版・ウェブサイトの形で公開。日本研究の現状、展望、問題点に関するエッセイを掲載
2	日本研究フォローアップ	ベトナム	05.09.01～ 06.03.31	2005年5月に行なわれたベトナム・ミッションを受けて、ベトナムにおける日本研究の現状をより具体的に把握し、対応策を考えるため、専門家を派遣して調査を実施
3	東南アジア、南アジアにおける日本研究調査	アジア地域区分困難	05.08.31～ 06.03.31	東南アジア、南アジア18カ国における日本研究の実態調査を行なった。日本研究者、日本研究機関に関する情報を召集し、その調査結果を出版・ウェブサイトの形で公開。日本研究の現状、展望、問題点に関するエッセイを掲載

1. 日本研究事業費	(2) 日本研究客員教授派遣（自主企画）〔ア〕
------------	-------------------------

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。

合計額 1,988,111円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	沼野 充義	東京大学大学院人文社会系研究科教授	インドネシア	05.11.24～ 05.12.02	インドネシア大学 他	インドネシア大学、パジャジャラン大学、スラバヤ国立大学で日本研究セミナーを実施

1. 日本研究事業費	(3) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕
------------	-------------------------

人文科学および社会科学分野（芸術分野を含む）、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し専門家を派遣する。

合計額 14,035,799円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	田中 義敏	東京工業大学大学院助教授	ベトナム	05.07.23～ 05.08.20	ホーチミン法律大学	日本研究、日本理解に関する講義の実施
2	合田 濤	神戸大学国際文化学部教授	ベトナム	05.09.10～ 05.11.10	国家大学ホーチミン市人文社会科学大学	日本研究、日本理解に関する講義の実施

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
3	John Barnett Welfield	国際大学教授	マレーシア	05.06.30～ 05.09.26	マレーシア国民 大学 マレーシ ア・国際問題研 究所	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
4	濱川 勝彦	神戸女子大学文 学部教授	インド	05.11.29～ 06.03.04	デリー大学	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
5	藤井 正雄	大正大学教授	スリランカ	05.06.25～ 05.09.24	コロンボ大学	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
6	北村 友人	名古屋大学助教 授	バングラデ シュ	05.11.30～ 06.01.08	ダッカ大学日本 研究センター	日本研究、日本理解に関する講 義の実施

1. 日本研究事業費 (4) 日本研究シニア客員教授派遣 (直接派遣) [ア]

人文科学および社会科学分野（芸術分野を含む）で、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、専門家を派遣する。本プログラムはジャパンファウンデーションボランティア制度の一環として実施。

合計額 17,547,202円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	下川 正晴	－	韓国	05.04.01～ 06.02.13	韓国外国語大学 校	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
2	加藤 淳平	－	中国	05.09.01～ 06.08.31	中国外交学院	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
3	大野 俊	－	フィリピン	05.06.01～ 05.10.30	フィリピン大学 国際関係研究所	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
4	梶田 美春	－	フィリピン	05.06.01～ 05.11.30	マニラ大学教養 学部日本学科	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
5	桑島 昭	大阪外国語大学	インド	05.08.10～ 05.11.09	ジャワハルラ ル・ネール大学 言語・文学・文 化学部	日本研究、日本理解に関する講 義の実施

## アジア・大洋州交流事業費

### 1. 日本研究事業費 (5) 日本研究拠点機関助成〔ア〕

各国において中核的な役割を担う日本研究機関に対し、共同研究、セミナーの開催、図書出版、研究者育成に関わる経費を包括的に助成する。

合計額 54,070,776円

	機関	国	期間	事業内容
1	ソウル大学校日本研究所	韓国	05.04.01～ 06.03.31	図書・視聴覚資料等購入、日本研究動向調査、研究フォーラム支援、インターネットによる情報提供、大学院生訪日研修
2	南開大学日本研究院	中国	05.04.01～ 06.03.31	客員教授派遣助成、出版援助、日本研究リサーチ・会議助成、図書寄贈
3	北京大学/精華大学/中国人民大学	中国	05.04.01～ 06.03.31	大学生訪日研修
4	復旦大学日本研究センター	中国	05.04.01～ 06.03.31	客員教授派遣助成、出版援助、日本研究リサーチ・会議助成、図書寄贈
5	インドネシア大学	インドネシア	05.04.01～ 06.03.31	修士・博士課程支援、客員教授派遣
6	タマサート大学大学院・日本研究センター	タイ	05.04.01～ 06.03.31	リサーチ・会議等助成、講師謝金助成、大学院訪日研修
7	チュラロンコン大学	タイ	05.04.01～ 06.03.31	客員教授派遣
8	フィリピン大学	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	フィリピン大学に対する日本研究拠点機関助成の供与
9	ベトナム日本研究調整評議会	ベトナム	05.04.01～ 06.03.31	中学・高校教師向け日本事情ワークショップ2年目、WEBサイト3年目

### 1. 日本研究事業費 (6) 日本研究スタッフ拡充助成〔ア〕

人文科学、社会科学の分野で日本に関する教育・研究のために教育職を新規に設置しようとする外国の高等教育、研究機関に対し、それに伴う新規採用によって生じる人件費を当初の3年間に限って助成する。

合計額 8,291,010円

	機関	国	期間	事業内容
1	香港中文大学	(香港)	05.08.15～ 06.03.31	日本文化・社会学助教授の給与助成(3年目)

## 1. 日本研究事業費 (7) 日本研究リサーチ・会議等開催 (助成) [ア]

海外の高等教育・研究機関や学会等が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップなどについて、経費の一部を助成する。

合計額 37,947,881円

	団体	国	期間	事業内容
1	韓国日本語学会	韓国	05.04.01～ 06.03.31	「日本学研究と東アジア」－東北亜文化共同性の可能性
2	全南大学校日本文化研究センター	韓国	05.04.01～ 06.03.31	国際学術シンポジウム「日本大衆文化の開放、その以後」
3	世宗研究所	韓国	05.04.01～ 06.03.31	日本福祉体系改革の政治経済：韓国への示唆点
4	高麗大学校附設日本学研究センター	韓国	05.04.01～ 06.03.31	<他者>と文化表象－高麗大学校附設日本学研究センター第6回国際学術シンポジウム
5	韓国日本学会	韓国	05.04.01～ 06.03.31	近・現代の「日本的価値」と21世紀
6	韓日民族問題学会	韓国	05.04.01～ 06.03.31	国際学術会議：韓・日関係史における在日朝鮮人の形成と存在の意味
7	遼寧大学	中国	05.04.01～ 06.03.31	中日民間交流と東アジア地域協力－戦後60周年日本研究シンポジウム
8	東北師範大学日本研究所	中国	05.04.01～ 06.03.31	戦後日本60年国際シンポジウム
9	復旦大学歴史学部	中国	05.04.01～ 06.03.31	「正倉院と中日文化交流」国際学術セミナー
10	張謇研究センター	中国	05.04.01～ 06.03.31	国際シンポジウム「中日近代企業家の文化事業と社会事業－張謇と洪沢榮一との比較研究」
11	浙江工商大学	中国	05.04.01～ 06.03.31	中国人が描いた日本図の蒐集と研究
12	中国社会科学院世界経済と政治研究所	中国	05.04.01～ 06.03.31	社会的責任投資研究：日本、中国、韓国の比較
13	清華大学日本研究センター	中国	05.06.30～ 06.03.31	中日国際会議「戦後60年の中日関係－その展望と課題」
14	中華日本哲学会	中国	05.08.06～ 05.08.15	国際シンポジウム－日本明治哲学思想と中国近代哲学変容の関わり－
15	広東外語外貿大学	中国	05.10.01～ 06.03.31	広州日本語学国際シンポジウム
16	インドネシア大学国際関係研究センター	インドネシア	05.04.01～ 06.03.31	日本と東南アジアにおける経済危機：インドネシアとマレーシアのケース・スタディ

## アジア・大洋州交流事業費

	団体	国	期間	事業内容
17	インドネシア日本研究協会	インドネシア	05.05.01～ 05.08.30	第11回日本研究全国セミナーおよび第4回ASJI総会
18	シンガポール国立大学	シンガポール	05.04.01～ 06.03.31	日本の伝統芸能に関するオンライン・リソース・センターの構築
19	国立開発学研究所貧困問題研究センター	タイ	05.05.01～ 06.03.31	タイの社会保障システムの現状：日本の成功と失敗からいかに学ぶか
20	アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	05.04.01～ 06.07.31	Japan : A Reintroduction
21	ハノイ国家大学 人文社会科学大学	ベトナム	05.04.01～ 06.03.31	日越教育・文化交流－東遊運動100周年記念国際会議
22	ニュー・カッスル大学	オーストラリア	05.04.01～ 06.03.31	日本史ワークショップ

### 1. 日本研究事業費 (8)高砂熟学工業・日本研究奨励スカラシップ

インドネシア、フィリピン、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 1,551,323円

	国	機関	人数	期間	事業内容
1	マレーシア	クイーンズランド大学	1	06.01.19～ 06.07.18	日本研究フェローとしてフェローシップ供与。 研究テーマ：日マ二国間関係と東アジア地域主義

### 1. 日本研究事業費 (9)東南アジア元日本留生活動支援（A C）

アセアン6カ国の元日本留学生協会の行なうアジア各国の元日本留学生交流のための活動（集会室借上等）に対し支援を行なう。

合計額 21,350,099円

	団体	国	期間	事業内容
1	インドネシア元留学生協会 (PERSADA)	インドネシア	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
2	シンガポール元日本大学卒業生協会 (JUGAS)	シンガポール	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成

	団体	国	期間	事業内容
3	タイ国元日本留学生協会 (OJSAT)	タイ	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
4	元日本留学生フィリピン連盟 (PHILFEJA)	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
5	マレーシア元留日学生協会	マレーシア	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
6	東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)	マレーシア	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
7	ミャンマー元日本留学生協会	ミャンマー	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
8	シンガポール元日本大学卒業生協会 (JUGAS)	シンガポール	05.09.08～ 05.09.10	第16回ASCOJA総会 (アセアン6カ国7団体の各協会の総会)

1. 日本研究事業費	(10)北京日本学研究センター派遣 (北外)
------------	------------------------

北京外国語大学で実施される北京日本学研究センター修士課程、在職日本語教師修士課程に対し、専門家を派遣する。  
合計額 52,100,280円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	篠崎 摂子	国際交流基金日本語国際センター専任講師	03.09.01～ 05.07.12	在職修士課程において、日本語教育学分野において学生の指導を行なった
2	畔上 和子	北京日本学研究センター専任主任	04.04.01～ 05.03.31	日本側主任教授・副主任を補佐し、北京日本学研究センター内日本側事務局の運営を行なった
3	加藤 晴子	明海大学外国語学部助教授	05.03.25～ 06.03.31	日本側副主任として北京日本学研究センター運営を行なうと共に、「日中文化比較」の講義を担当
4	白井 啓介	文教大学文学部教授	05.03.25～ 06.03.31	日本側主任教授として北京日本学研究センター運営を行なうと共に、「日中文化比較」の講義を担当
5	宮島 達夫	京都橘大学文学部教授	05.05.09～ 05.05.17	2005年春短期の講義を行なった (言語)
6	中村 春作	広島大学大学院教育学研究科教授	05.06.20～ 06.06.25	2005年春短期の講義を行なった (文化)
7	篠崎 摂子	国際交流基金日本語国際センター専任講師	05.08.23～ 05.08.27	在職修士の2005年夏集中指導を行なった

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	期間	事業内容
8	徳井 厚子	信州大学教育学部助教授	05.08.23～ 05.08.27	在職修士の2005年夏集中指導を行なった
9	泉 文明	龍谷大学国際文化学部助教授	05.08.29～ 05.10.31	2005年秋学期の講義を行なった（日本語）
10	真鍋 昌弘	関西外国語大学外国語学部教授	05.08.29～ 06.01.03	2005年秋学期の講義を行なった（文学・文化）
11	立石 寛	名古屋大学経済学部助教授	05.08.29～ 06.01.05	2005年秋学期の講義を行なった（社会・経済）
12	小熊 誠	沖縄国際大学文学部教授	05.09.18～ 06.09.28	2005年秋短期の講義を行なった（社会）
13	吉岡 英幸	早稲田大学教授	05.11.25～ 05.12.24	2005年秋短期の講義を行なった（日本語）
14	荻生 茂博	元山形県立米沢女子短期大学教授	05.12.25～ 05.12.31	2005年秋短期の講義を行なった（文学）
15	篠崎 摂子	国際交流基金日本語国際センター専任講師	06.01.03～ 06.01.07	在職修士の2006年冬集中指導を行なった
16	西谷 まり	一橋大学留学生センター助教授	06.01.03～ 06.01.07	在職修士の2006年冬集中指導を行なった
17	石毛 忠	防衛大学校名誉教授	06.02.28～ 06.07.12	2006年春学期の講義を行なった（文化）
18	谷部 弘子	東京学芸大学留学生センター教授	06.02.28～ 06.07.12	2006年春学期の講義を行なった（日本語教育学）
19	北田 暁大	東京大学情報学環助教授	06.02.28～ 06.07.12	2006年春学期の講義を行なった（社会）
20	伊藤 徳也	東京大学大学院総合文化研究科助教授	06.03.25～ 07.03.31	日本側主任教授として北京日本学研究センター運営を行なうとともに日本学基礎の講義を担当
21	白水 紀子	横浜国立大学教育人間学部教授	06.03.25～ 07.03.31	日本側主任教授として北京日本学研究センター運営を行なうとともに日本学基礎の講義を担当
22	千葉 俊二	早稲田大学教育・総合学術院教授	06.03.26～ 06.04.09	2006年春学期の講義を行なった（文学）



1. 日本研究事業費 (11)北京日本学研究センター派遣 (北大)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 3,681,390円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	坂倉 省吾	日本規格協会	05.04.06～ 05.04.08	北京大学現代日本研究講座において「現代日本の経済産業政策」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
2	小林 和子	日本証券経済研究所理事兼主任 研究員	05.04.11～ 05.04.15	北京大学現代日本研究講座において「日本の証券」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
3	建林 正彦	神戸大学教授	05.04.24～ 05.04.30	北京大学現代日本研究講座において「日本の政府と行政」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
4	新宅 純二郎	東京大学大学院経済学研究科助 教授	05.04.24～ 05.04.30	北京大学現代日本研究講座において「日中企業管理比較研究」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
5	伊藤 大一	政策研究大学院大学客員教授	05.04.26～ 05.04.28	北京大学現代日本研究講座において「日本の現代化過程」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
6	知原 信良	証券取引等監視委員会総務検査 課長	05.04.27～ 05.04.29	北京大学現代日本研究講座において「日本の税制」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
7	白石 隆	政策研究大学院大学副学長	06.03.28～ 06.04.01	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の外交、国際関係論」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
8	八田 達夫	国際基督教大学教授	06.03.29～ 06.04.01	北京大学現代日本研究講座において「日本の経済」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
9	堀内 昭義	中央大学大学院総合政策研究科 教授	06.04.02～ 06.04.05	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の金融」に関する講義を行ない、学生指導にあたった

1. 日本研究事業費 (12)北京日本学研究センター招へい (北外)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究センターの博士課程、修士課程、在職日本語教師修士課程に在籍する学生および専任教授などを、研究、資料収集、論文執筆などのために招へいする。

合計額 50,625,575円

	グループ名	人数	氏名	期間	事業内容
1	2005年現地博士フェロー1	1	王梅	05.03.28～ 06.03.27	北京日本学研究センター博士課程の一環として一部学生に訪日研究の機会を与え、フェローシップを供与
2	2005年現地博士フェロー2	1	楊玲	05.03.28～ 06.03.27	北京日本学研究センター博士課程の一環として一部学生に訪日研究の機会を与え、フェローシップを供与

## アジア・大洋州交流事業費

	グループ名	人数	氏名	期間	事業内容
3	修士19期生	18	-	05.03.28～ 06.09.16	北京日本学研究中心修士課程学生に修士論文作成のための訪日研究を実施し、大学・研究機関等に在籍して専門家の論文指導を受けた
4	在職修士課程 第4期訪日研修	8	-	05.07.04～ 05.08.01	北京日本学研究中心在職修士課程の一環として、訪日研究を実施し、論文資料収集等の活動を行なった
5	専任研究スタッフ招へい	1	宋金文	06.02.06～ 06.06.05	訪日研究
6	修士20期生	20	-	06.03.28～ 06.08.01	北京日本学研究中心修士課程学生に修士論文作成のための訪日研究を実施し、大学・研究機関等に在籍して専門家の論文指導を受けた
7	2006年現地博士課程フェロー1	1	孫梅英	06.03.30～ 07.03.29	北京日本学研究中心博士課程の一環として一部学生に訪日研究の機会を与え、フェローシップを供与
8	2006年現地博士課程フェロー2	1	李所成	06.03.30～ 07.03.29	北京日本学研究中心博士課程の一環として一部学生に訪日研究の機会を与え、フェローシップを供与

1. 日本研究事業費	(13) 北京日本学研究中心招へい (北大)
------------	------------------------

北京大学で実施される現代日本研究講座を受講する学生を、研究、資料収集、論文執筆などのために招へいする。  
合計額 25,520,832円

	グループ名	人数	期間	事業内容
1	現代講座訪日研修 (5期)	27	05.05.12～ 05.05.25	北京大学現代日本研究講座の所属学生 (社会人10名/大学院生13名/北京大学関係者4名) に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施
2	博士課程フェロー1 (雷艶紅)	1	05.09.20～ 06.03.19	北京大学現代日本研究講座の一部学生がフェローシップの供与により、大学・研究機関等に在籍し博士論文作成
3	博士課程フェロー2 (劉東勝)	1	05.09.20～ 06.03.19	北京大学現代日本研究講座の一部学生がフェローシップの供与により、大学・研究機関等に在籍し博士論文作成
4	現代講座訪日研修 (6期)	24	05.11.01～ 06.03.31	北京大学現代日本研究センターの所属学生に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施

1. 日本研究事業費 (14)北京日本学研究中心（研究協力）

北京外国語大学および北京大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、図書・教材の購送、学術共同研究の実施などの研究に関する支援などを行なう。

合計額 14,478,653円

	事業名	期間	事業内容
1	研究プロジェクト	05.04.01～ 06.03.31	北京日本学研究中心の研究プロジェクトに対する助成
2	出版プロジェクト	05.04.01～ 06.03.31	北京日本学研究中心の出版に対する助成
3	北京外国語大学教材等購送	05.04.01～ 06.03.31	北京日本学研究中心へ、日本で購入した書籍を送付
4	北京大学教材等購送	05.04.01～ 06.03.31	北京大学現代日本研究中心へ、日本で購入した書籍を送付
5	北京外国語大学（文献複写）	05.04.01～ 06.03.31	北京日本学研究中心で研究に必要な、日本国内に所蔵されている文献を、複写サービスを通して利用
6	北京日本学センターシンポジウム	05.10.13～ 05.10.16	北京日本学研究中心20周年記念シンポジウムの実施

1. 日本研究事業費 (15)中国社会科学院研究生院

中国の若手研究者育成のため、中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に対して博士論文執筆のためのフェローシップを供与する。

合計額 6,211,695円

	氏名	期間	受入団体	事業内容
1	唐永亮	05.04.03～05.12.02	法政大学法学部	中江兆民の政治倫理思想の研究
2	李理	05.04.03～05.12.02	中央大学法学部	台湾領有期における警察制度および警察政治
3	常東亮	05.04.03～05.12.02	北海道学園大学経済学部	日本の流通政策の経済分析

## アジア・大洋州交流事業費

### 2. 人物交流事業費 (1)地域研究フェローシップ〔ア〕

多層的、多角的な国際相互理解を推進するため、諸外国、地域の政治、経済、社会、文化等を地域研究の視点から総合的に研究しようとする若手の日本の人文、社会科学分野の研究者に対し、フェローシップを供与する。

合計額 2,575,390円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	原田 一宏	財団法人地球環境戦略研究機関	オーストラリア	05.07.04～ 06.07.03	－	グローバル下での地域自然資源管理の変容と社会組織の再構築－インドネシアとオーストラリアの比較を通じて
2	砂本 文彦	広島国際大学	韓国	06.01.31～ 06.04.04	－	近代朝鮮半島の国際リゾート地

### 2. 人物交流事業費 (2)日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔ア〕

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行なう機会を提供する。

合計額 121,022,446円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	CHO, Kyu-cheol	韓国外語大学 副教授	韓国	05.08.20～ 06.08.19	筑波大学人文社会科学部研究科	日本におけるNGO・NPOと政府間のパートナーシップに対する研究
2	CHUNG, Ki-ryong	国立麗水大学校 国際学部助教授	韓国	06.02.10～ 07.02.09	一橋大学社会学部	日本の少子・高齢社会における社会政策
3	JANG, Wonho	ソウル市立大学 都市科学大学 都市社会学部 助教授	韓国	04.08.01～ 05.07.31	慶應義塾大学法学部	日本の政治文化の変動
4	KIM, Young Rae	亜洲大学校 政治外交学教授	韓国	04.08.24～ 05.07.21	慶應義塾大学法学部	市民団体の政治参加に関する比較研究：日本と韓国の事例を中心に
5	KIM, Kee-seok	国立江原大学校 社会科学部 政治外交学教授	韓国	06.01.20～ 07.01.19	法政大学	受動的な国家から地域覇権国家へ 日本対外経済政策の部門間比較研究
6	LEE, Chang-hyun	東京大学大学院	韓国	05.07.15～ 06.04.28	東京大学大学院	北東アジアにおける文化交流とそれによる国家アイデンティティへの影響と国際関係
7	OH, Dong Ryong	日刊朝鮮社取材 チーム記者	韓国	05.03.27～ 06.03.26	静岡県立大学	日韓教国民の安保観
8	OH, Seong Cheol	清洲大学教育大学校 初等教育科 助教授	韓国	04.09.01～ 05.08.31	京都大学	日本植民統治期の韓国と台湾における植民地初等教育の比較研究：1895～1945

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
9	SON, Dong Ju	釜慶大学校人文社会科学大学日本語日文学部教授	韓国	05.02.01～ 06.01.31	東北大学大学院文学研究科	自・他動詞と使役・受動との関わり
10	YOOK, Keun-hyo	釜山外国語大学経営学部教授	韓国	05.12.15～ 06.12.14	横浜国立大学経営学部	地方自治体の会計制度と成果評価システムに関する日韓比較研究
11	BAO, Zhiming	中央民族大学教授	中国	04.09.01～ 05.08.31	立正大学地球環境科学部	中国内モンゴル自治区における砂漠化防止事業としての「生態移民」の研究
12	BI, Shihong	雲南大学国際関係学院常勤講師/教師	中国	06.02.05～ 07.02.04	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科	メコン経済圏の開発・協力をめぐる日本の関わり
13	DU, Chuang Guo	山西大学政治と公共管理学院助教授	中国	04.09.01～ 05.08.31	明治学院大学法学部	中国の事業単位の改革と日本の特殊法人改革の比較
14	LEE, Puitak	香港大學アジア研究センター研究員/大学院指導教官	中国	05.12.23～ 06.03.22	京都大學人文科学研究所	香港、上海、天津およびシンガポールにおける海外日本人社会と本国とのネットワーク（1870年代から1930年代まで）
15	LI, Xiufeng	中国青年政治学院公共管理学部公共管理学部長/副教授	中国	05.07.20～ 06.07.19	早稲田大学大学院公共経営研究科	日本における規制改革研究
16	MAIMAITIAILI, Wubuli	新疆ウイグル自治区文物局文物保護所副所長	中国	04.10.28～ 05.10.26	筑波大学芸術学系	中央アジアシルクロードの古代遺跡と日本文化財への影響とその比較研究
17	PAN, Li	中国人民大学芸術学院助教授	中国	05.09.01～ 06.07.31	東京芸術大学美術学部	日本美術から考察される日本人の「間」の意識構造の探求
18	PANG, Deliang	吉林大学東北亜研究院世界経済研究所教授/所長	中国	04.10.31～ 05.08.30	日本西南学院大学商学部	現代日本の公共投資に関する研究－高度成長期と平成不況期を中心としての歴史的、現実的考察
19	SHEN, Xiao Min	華東師範大学国際および比較教育研究所助教授	中国	04.11.15～ 05.05.14	東京大学大学院教育学研究科	日本における総合的学習の理論と授業実践に関する考察－基礎的基本的力の習得とその評価の在り方を中心に－
20	WANG, Jian	中国社会科学院近代史研究所台湾史研究室主任研究員	中国	05.09.01～ 06.08.31	慶應義塾大学法学部	戦後日台経済関係史（終戦初期-1980年代）に関する研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
21	WEI, Yulin	広東外語外貿大学教授	中国	05.01.23～ 05.11.22	東京大学大学院 総合文化研究科	日本近代文学（小説）の言語論的研究
22	, Wuyungaowa	中国社会科学院 歴史所中外交流 史研究室研究員	中国	05.08.09～ 06.08.08	大阪国際大学法 政経学部	明代「日本語」と朝鮮司訳院 「日本語学」の研究
23	YU, Suqiu	中国人民大学日 本語学部部長	中国	04.08.30～ 05.08.29	山形大学	若者における日本アニメ文化の 受容と再伝播
24	ZHENG, Jing	中国社会科学院 社会学研究所社 会理論室助(副) 教授	中国	04.08.08～ 05.08.07	上智大学文学部 社会学科	未来の都市像を描く人と仕組－ 日中比較研究
25	BATSAIKHAN, Ookhnoi	モンゴル科学ア カデミーロシア 学科長/研究員	モンゴル	04.09.29～ 05.09.28	東北大学北東ア ジア研究セン ター	20世紀のモンゴル独立問題に関 する日本の影響
26	Lupi Ardiati, Riza	パジャジャラン 大学文学部日本 語学科日本語教 師	インドネシア	05.07.04～ 06.03.02	静岡大学人文学 部	現代日本の歴史
27	TJANDRA, Sheddy Nagara	インドネシア大 学人文科学部教 員	インドネシア	05.08.23～ 06.01.18	広島大学大学院	日本語の歴史(音韻/文字/語彙)
28	NETHIPO, Viengrat	チュラロンコン 大学講師	タイ	05.10.01～ 06.09.30	京都大学大学院 アジアアフリカ 地域研究研究科	タックシンと田中角栄の政治ス タイルの比較研究
29	CONTRERAS, Lelu, Prima	地方裁判所書記 官	フィリピン	05.07.01～ 05.10.31	神戸大学大学院 国際協力研究科	裁判外紛争処理手続き、裁判所 関与の和解・調停手続－日本の 制度とそのフィリピンへの導入
30	ZAYAS, Cynthia Neri	フィリピン大学 国際地域研究セ ンターセンター 長	フィリピン	05.08.01～ 06.07.30	神戸学院大学	明石における土地の歓喜と地名 の記憶
31	NGUYEN THI, Oanh	ベトナム社会科 学院漢喃研究所 研究員	ベトナム	05.10.01～ 06.09.30	立教大学文学部	『今昔物語集』の伝承要素につ いての比較研究
32	NGYEN, DUY Dung	日本研究セン ター助教授	ベトナム	05.11.10～ 06.05.08	東京大学	経済競争の向上に向けた行政改 革：ここ数年における日本とベ トナムの比較

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
33	HOOI, Lai Wan	マレーシア工科大学科学技術政策・国際問題研究センター講師/研究員	マレーシア	06.02.06～ 07.02.05	大阪大学大学院 国際公共政策研究科（OSIPP）	現代における人的資源管理の傾向：日本とマレーシアの比較
34	GOH, Pek Chen	マルチメディア大学商業法律系	マレーシア	04.08.01～ 05.07.31	北九州市立大学 国際環境工学部	日本経済発展と知的所有権
35	BALARAM, Padmini	国立デザイン研究所客員教授	インド	06.03.11～ 07.03.10	国立民族学博物館	中国、韓国を経由したインドから日本への織物の伝播ル－：文化、織物、デザイン、色への相互影響
36	GOVINDAN, Venkataramani	ヒンドゥ紙特派員	インド	05.06.17～ 05.12.16	早稲田大学アジア太平洋研究センター	日本における農業技術の研究
37	MUNGILA HILLEMANE, Bala Subrahmanya	インド理工大学経営学科準教授	インド	05.03.01～ 06.02.25	政策研究大学大学院	日本の製造業における大企業と中小企業の相互関係－技術革新・経済発展過程における役割を中心に
38	VARMA, Lalima	ジャワハルラルネルー大学国際関係学部東アジア研究所所長/助教授	インド	05.01.10～ 06.01.09	東京大学東洋文化研究所	南アジアにおける日本の経済－戦略支援政策
39	FERNANDO, Laksiri Piyadasa	コロombo大学大学院研究科研究科長/教授	スリランカ	05.08.24～ 06.08.23	龍谷大学経済学部	平和構築への日本の役割：スリランカを例として
40	PERERA, Vitiyala Ilesinghage Don Jothi	コロombo大学上級講師	スリランカ	04.06.01～ 05.05.31	慶應義塾大学商学部	コロombo、鹿島、英フェリックストープ港における港湾設備の近代化と労使問題
41	Chowdhury, Mahfuzul Hoque	チッタゴン大学教授	バングラデシュ	05.08.01～ 06.07.31	東京大学	日本の政党政治および選挙改革と民主主義強化、バングラデシュへの教訓
42	OKANO, Kaori Horne	ラ・トロープ大学シニア講師	オーストラリア	06.01.25～ 06.12.15	神戸大学	現代日本におけるマルチカルチュアリズム教育の政策と実践－地域の市民運動とグローバル化の相互作用
43	TAMURA, Keiko	オーストラリア国立図書館ハロルド・ホワイト・フェロー	オーストラリア	05.02.01～ 05.07.31	神戸大学文学史学科	20世紀前半の神戸における欧米およびアジア系外国人コミュニティとその返遷

## アジア・大洋州交流事業費

### 2. 人物交流事業費 (3) 日本研究フェローシップ (論文執筆者) [ア]

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 69,568,494円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	CHOI, Hyokyung	インディアナ大学博士課程	韓国	04.09.01～ 05.08.25	東京大学史料編纂所	17世紀、18世紀の日韓アイデンティティの相互文化構造
2	CHOI, Suk-hwan	ソウル大学大学院法学科研究生	韓国	05.10.22～ 06.12.21	東京大学大学院法学政治学研究科	日韓両国の労働法の制定に見る雇用者の概念に対する比較研究
3	KIM, Hyun-chul	エジンバラ大学社会人類学博士課程	韓国	05.10.22～ 06.12.21	筑波大学	現代日本の死者儀礼と死の概念
4	OH, Dong-il	ブルネイ大学	韓国	05.07.01～ 06.02.28	日本大学	日本アニメにおける美的特徴：キャラクターとアニメファンの関係
5	PARK, Seo Hyun	コーネル大学博士課程	韓国	04.09.08～ 05.08.01	東京大学東洋文化研究所	東アジアにおける国家主権と国際関係：日本と韓国に関する比較考察
6	SEO, Jaekil	ソウル大学大学院国語国文学科博士課程修了	韓国	04.10.01～ 05.11.30	東京外国語大学外国語学部	JODK朝鮮放送協会の放送文芸活動について
7	SHIN, Mi-young	漢陽大学校博士課程	韓国	05.07.01～ 06.08.31	日本大学大学院芸術学研究科	青年梶井基次郎と近代都市空間
8	CHEN, Jing	中山大學大学院人類学研究科学生	中国	06.01.30～ 07.03.29	神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科	民族文化の観光資源化－町づくりと伝承文化の保護・活用－
9	DAI, Hongguang	北京大學外国語学院日本語文化学部	中国	05.10.18～ 06.12.17	法政大学法学部	「粹」と日本近世倫理－美意識研究の思想史的な視座
10	LI, Minggang	オハイオ州立大学東アジア語学文学学科	中国	05.10.02～ 06.10.01	国際日本文化研究センター	文藝春秋社の初期と中流知識層読者数の増加について
11	LIN, Zhongjie	ペンシルバニア大学博士課程	中国	05.07.05～ 06.07.04	芝浦工業大学建築学科	都市の発展：丹下健三と日本の都市ユートピア (1959-70)
12	QIN, Na	上海大学学報編集部編集長	中国	04.10.03～ 05.10.02	神戸大学発達科学部	上海と大阪における生涯教育に関する比較研究
13	XIE, Zhiyu	浙江大學外国語学院日本語文化研究所副所長/助教授	中国	05.10.16～ 06.10.15	東京学芸大学	二十世紀後半における日本の小説



	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
14	YANG, Zhaohua	スタンフォード大学宗教学博士課程学生	中国	06.03.30～ 07.05.29	東京大学大学院人文社会系研究科	穢れ：江戸時代における烏枢沙摩明王に関する偽書の創作
15	ZHANG, Yijie	同済大学建築与城市规划学院博士課程	中国	05.06.25～ 06.08.24	東京芸術大学	飛鳥時代から平安時代までの木造層塔の類型に関する研究
16	ZHAO, Xiu Juan	中国北京大学外国語学院日本語文化学部博士生	中国	04.09.09～ 05.11.08	日本大学文理学部	井上靖文学の表現空間－その中国に関する歴史小説をめぐって
17	NG, Kwok Wai	シドニー大学	(香港)	04.06.01～ 05.05.31	法政大学文学部日本文学科	中国の唐代(618-903)から現代日本までの唐楽調子における変遷－平調、黄鐘調および盤渉調について－
18	LIM, Tai Wei	コーネル大学博士課程学生	シンガポール	06.02.07～ 06.10.06	九州大学法学部	中国石油開発に対する日本の投資の影響について
19	LOO, Tze May	コーネル大学歴史学部大学院生	シンガポール	04.09.30～ 05.09.29	早稲田大学政治経済学部	沖縄の国宝：首里城と沖縄の歴史を通じた現代日本文化形成要素の探求
20	KRISDATHANONT, Duantem	チュラロンコン大学文学部日本語学科専任講師	タイ	05.06.16～ 06.03.15	大阪大学大学院文学研究科	大江健三郎の作品における女性像の転換
21	SELVARAJU, Mala	クイーンズランド大学国際関係・政治学部博士課程	マレーシア	05.11.05～ 06.05.15	国際大学大学院国際関係学研究科	日馬二国間関係と東アジア地域主義
22	SYED ZAKARIA, Sharifah Zarina, Binti	マレーシア国民大学国際研究所(IKMAS)研究員	マレーシア	05.11.01～ 06.03.31	国際基督教大学教育研究所	日本とマレーシアの教育システムに関する比較研究：初等教育を中心に
23	,Naw Si Blut	東南アジア教育大臣機構歴史伝統センター(SEAMEO-CHAT) シニア・オフィサー	ミャンマー	05.07.03～ 06.09.02	東京外国語大学	ミャンマーでの日本の占領による影響：エーヤーワディ地区の事例
24	ANANTH, Priya	オハイオ州立大学博士課程	インド	04.09.04～ 05.11.03	京都大学文学部	第二言語としての日本語習得時の時間の表現発達－時節における時制と相の相互作用
25	JAYARAMAN, Usha Priamvatha	バナラス・ヒンドゥー大学研究院	インド	05.06.13～ 06.08.12	筑波大学	日本の女流文学に見るユーモアとその文化的背景

## アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
26	PRASAD, Prashant Kumar	ジャワハルラル・ネルー大学学生	インド	05.08.12～ 06.10.26	早稲田大学	日本の開発援助：1992年から2001年までのソフトエイド政策の研究
27	CORBETT, Rebecca Jane	シドニー大学日本・韓国（朝鮮）学科博士課程大学院生	オーストラリア	05.09.26～ 06.09.25	国際日本文化研究センター	戦時下の日本における茶の湯の女性化

### 2. 人物交流事業費 (4) 日本研究フェローシップ（短期）〔ア〕

人文・社会科学分野の学者、研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 5,818,017円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	KIM, Tai-gi	檀国大学教授	韓国	05.10.24～ 05.12.22	－	労働組合による政治的活動：日本と韓国における比較研究
2	YE, Jong-suk	漢陽大学校経済学部/アルンダウン財団（美しい財団）教授/所長	韓国	05.09.20～ 05.11.18	大阪大学	日韓両国の慈善活動についての比較研究
3	WENG, Ming	中国社会科学院農村発展研究所教授	中国	05.09.20～ 05.10.25	－	日中間の農産物交易の比較分析
4	JAIN, Sushama	ジャワハルラルネルー大学外国語学部教授	インド	05.03.30～ 05.05.28	大東文化大学	三島の作品における輪廻のコンセプト：一般インド人から見た解釈
5	MANGI, Lutfullah	シンド大学国際関係学科/極東東南アジア研究所主任教授/所長	パキスタン	05.05.06～ 05.06.13	－	冷戦後の日本の東アジア政策
6	MORRISON, Tiffany Hope	南オーストラリア・フリンダース大学国際政治学科講師	オーストラリア	05.11.14～ 05.12.16	京都大学防災研究所	日本、米国、豪州の地方レベルにおける環境の持続可能性の追求－準国家レベルの統合管理の比較分析

2. 人物交流事業費 (5)知的リーダー・グループ招へい〔ア〕

海外の知的リーダーを一定期間、海外より招へいし、国内での関係機関、関係者と意見交換・交流を行なう。  
合計額 8,136,194円

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
1	日本研究情報専門家研修	韓国 中国 インドネシア タイ フィリピン マレーシア インド カナダ 米国 ドイツ	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	05.11.27～ 05.12.17	海外の日本研究期間、図書館で日本研究情報を扱う専門家を招へいし、国立国会図書館で研修を行なう他、関係機関、関係者と意見交換・交流を行なった

2. 人物交流事業費 (6)知的交流フェロースhip（次世代）（AC）〔ア〕

アジアをフィールドとする日本の若手による優れた調査・研究を奨励するとともに、他のアジアの国々と日本との知的対話のネットワーク構築を担う次世代の人材育成を目的として、日本の大学院生、非営利団体スタッフにアジアにおける調査・研究のためのフェロースhipを供与する。

合計額 16,471,120円

	事業名	国	期間	事業内容
1	平成17年度次世代リーダー・フェロースhip（松永 光平）	中国	05.09.01～ 06.08.31	中国黄土高原における水土流失と人々の暮らしとのかかわり（陝西師範大学旅遊与環境学院）
2	平成16年度次世代リーダー・フェロースhip（滝口 良）	モンゴル	04.10.30～ 05.10.29	モンゴル国における土地所有－脱社会主義政策と「伝統」の復興－（モンゴル国立大学社会科学部歴史学科）
3	平成16年度次世代リーダー・フェロースhip（今村 祥子）	インドネシア	05.03.30～ 06.03.29	独占されない暴力－インドネシアにおける公権力と社会権力－（Center for Strategic and International Studies）
4	平成17年度次世代リーダー・フェロースhip（織方 愛）	インドネシア	06.03.31～ 06.06.28	地域保険活動におけるエスのグラフィックアプローチを取り入れた地域診断・分析と計画立案・評価－インドネシア、バドワイ地域の人－の世界観とケアリングシステム・健康観・保健行動を規定する文化的要因を中心に－（インドネシア政府保健省）
5	平成17年度次世代リーダー・フェロースhip（田中 洋子）	インドネシア	06.03.26～ 06.08.25	インドネシアにおける農民参加型水管理の可能性と課題－南スラウェシ州ゴワ県の水利組合強化事業を事例に－（国立ハサヌディン大学環境研究センター）

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	国	期間	事業内容
6	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (朝日 由実子)	カンボジア	05.03.30～ 06.03.29	手織物産業の発展と女性労働形態の多様化－非農業活動の役割から見るカンボジア農村社会の変容－ (Royal Academy of Cambodia)
7	平成17年度次世代リーダー・フェローシップ (稲見 綾乃)	タイ	05.10.01～ 06.01.31	タイの社会保障：30パーツ健康保険制度をめぐる行政と住民の意識と行動 (チュラロンコン大学経済学部WHO共同ヘルス経済センター/バンコクYMCA)
8	平成17年度次世代リーダー・フェローシップ (鈴木 佑記)	タイ	06.01.16～ 07.01.15	「漂海民」モーケンのライフヒストリー－スマトラ沖地震・津波被災後のアイデンティティ変容に関する考察－ (チュラロンコン大学社会調査研究所)
9	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (須永 和博)	タイ	05.02.28～ 05.12.27	タイ北部山地少数民族社会における環境運動の文化人類学的研究－森林資源管理をめぐる公共空間および地域共同体のアイデンティティ構築過程についての微視的分析－ (チェンマイ大学社会調査研究所)
10	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (渡邊 暁子)	フィリピン	05.02.28～ 06.09.23	マニラのムスリム・コミュニティにみるアイデンティティの動態－アラム・モスク・コンパウンドの土地抗争の事例－ (フィリピン大学第三世界研究所)
11	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (佐々木 結)	インド	05.03.30～ 06.03.26	地方分権時代のインドにおける国家と信頼：村落自治体における家屋税徴税率比較を通して (社会科学研究所)
12	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (鹿田 光子)	インド	05.03.15～ 06.03.01	インドの男子学生の自死の男性学的研究－ジェンダーバイアスが生み出す男子学生への不安と苦しみ－ (ジャワハルラル・ネルー大学)
13	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (田中 雅子)	ネパール	04.11.02～ 05.11.01	ネパール・カトマンズの異ジャート住民に対する社会排除の実態－旧市街の非ネワール借家人とネワール持家人の関係を事例に－ (NGO Forum for Urban Water and Sanitation)
14	平成17年度次世代リーダー・フェローシップ (小林 誠)	ツバル	06.03.30～ 07.03.29	環境問題を生きる島農民の社会人類学的研究－ポリネシア、ツバル諸島における海面上昇の「危機」と適応戦略－ (ツバル・オーバerview)
15	アジア次世代リーダー・フェローシップ・プログラム (業務諸費)	アジア区分困難	05.04.01～ 06.03.31	アジア地域を研究対象とする、主に人文・社会科学系の大学院生、また国際交流・国際協力の分野においてアジア地域との共同作業に従事する日本の非営利団体スタッフを対象として、調査・研究を奨励するため、最長12カ月のフェローシップを供与する。また事業実施に際して年間を通じて発生する事務局業務を外部委託

2. 人物交流事業費 (7)知的リーダー交流（アジアリーダー）（AC）〔ア〕

アジア地域の次世代を担うリーダーを日本に招へいし、共同研究や協議の機会を提供する。

合計額 22,641,954円

	事業名	国	期間	事業内容
1	アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	全世界区分困難	05.06.26～ 05.06.30	アジア諸国の様々な分野において際立ったリーダーシップを発揮している専門家を日本に招へいしているプログラム。平成17年度はプログラム開始10周年を記念して、過去のフェローのリユニオン会議を福岡と釜山で開催した他、過去のフェローによる論文集を刊行した。また、上海で開催された国際会議ICAS4に過去フェロー7名が参加し、発表

2. 人物交流事業費 (8)知的交流フェローシップ（招へい）〔ア〕

日本において人文・社会科学分野の研究を行なう諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 6,558,688円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	KANG, Sung-hack	高麗大学校	韓国	05.07.01～ 05.09.03	中央大学	国連安全保障理事会および東アジア平和安全における日本の常任理事国について
2	SHANG, Xia	東北師範大学日本研究所	中国	05.10.30～ 06.01.29	桜美林大学	メディアの役割と中日関係
3	SUNDRAM, Pushpanathan	ASEAN事務局	シンガポール	06.02.01～ 06.03.31	東京大学	東アジア共同体構築－目的、原則、担い手、役割と構造
4	HIRISAWA S., Prabhakar	ジャワハルラル・ネル大学	インド	06.03.12～ 06.06.11	早稲田大学	日本とインドにおける市民社会：国家と地域社会の均衡の変化

3. 催し等事業費 (1)知的リーダー交流（国際会議出席助成・招へい）〔ア〕

日本と諸外国の知的対話の促進と、知的リーダー間のネットワークの構築や強化を推進するため、国内で開催される国際的な知的対話事業（国際会議やシンポジウム等）に対し、基調講演等を行なう専門家を招へいする経費の一部を助成する。

合計額 1,086,238円

	事業名	団体名	期間	事業内容
1	国際シンポジウム「アジア諸国の外来語問題」	京都橘大学	05.06.09～ 05.06.13	国際シンポジウム「アジア諸国の外来語問題」を開催し、パネリストとしてLEE, Han Sop（韓国高麗大学教授）を招へい

## アジア・大洋州交流事業費

	事業名	団体名	期間	事業内容
2	シンポジウム「アジアにおける子供の教育と発達－保育・幼児教育分野における国際協力のあり方を考える－」	幼児教育に関する国際協力研究会	05.11.07～ 05.11.14	シンポジウム「アジアにおける子供の教育と発達－保育・幼児教育分野における国際協力のあり方を考える－」を開催し、パネリストとしてJAMSRANDORG, Batdelger（モンゴル国立教育大学初等教育学部長）を招へい
3	「アジア史学会14回研究大会」（福岡大会）	アジア史学会	05.11.18～ 05.11.22	「アジア史学会14回研究大会（福岡大会）」を開催し、講演者としてWANG, Wei（中国社会科学院考古研究所副所長）を招へい
4	「第6回東アジア成人教育フォーラム」	東アジア成人教育フォーラム	05.11.19～ 05.11.23	「第6回東アジア成人教育フォーラム」を開催し、報告者として、CHIA, Mun Onn（シンガポール成人教育協会委員長）を招へい
5	「東南アジア大陸部の書承文化」	国立民族学博物館	06.02.01～ 06.02.06	国際会議「東南アジア大陸部の書承文化」を開催し、基調講演者としてLORRILLARD, Michel（フランス極東学院所長）を招へい

### 3. 催し等事業費 (2)知的リーダー交流（国際会議出席助成・派遣）〔ア〕

日本と諸外国の知的対話の促進と知的リーダー間のネットワーク構築・強化を促進するため、海外で開催される国際的な知的対話事業（国際会議やシンポジウム等）において基調講演等を行なう専門家に対して経費の一部を助成する。  
合計額 776,550円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	佐々木 力	東京大学大学院総合文化研究科教授	中国	05.07.23～ 05.07.31	中国科学院自然科学史研究所	北京で開催された「第22回国際科学史会議」に出席し、司会・講演を行なった
2	菅山 謙正	神戸外国語大学外国語学部教授	シンガポール	05.05.31～ 05.06.05	アジア辞書学会/シンガポール国立大学	シンガポールで開催された「アジア辞書学会2005年度大会」に出席し発表を行なった
3	青田 寿美	国文学研究資料館助教授	インド	05.11.15～ 05.11.21	デリー大学	ニューデリーで開催された「インド国際日本文学集会」に出席し、発表を行なった

3. 催し等事業費 (3) 知的交流会議等開催 (助成) (A C) [ア]

アジア地域における相互理解の促進と共通に抱える課題の解決に向けて、会議・ワークショップなどの国際的な共同作業の一部経費を助成する。

合計額 96,392,473円

	団体	国	期間	事業内容
1	韓国選挙学会	韓国	05.05.01～ 06.02.28	日韓選挙学会の学術交流
2	現代日本学会	韓国	05.06.01～ 05.06.04	日韓国交正常化40周年記念国際学術会議「日韓関係の新しいビジョンを求めて」
3	東西大学校	韓国	05.06.24～ 06.06.27	日・韓次世代学術FORUM2005 国際学術大会
4	韓日社会文化フォーラム	韓国	05.10.27～ 05.10.29	韓日マスメディア・フォーラム (第3回韓日言論人ワークショップ)
5	大鐘寺古代鐘博物館	中国	05.04.01～ 05.10.31	東アジア古代鐘学術シンポジウム
6	中国人民大学中国社会保障研究センター	中国	05.04.01～ 06.03.24	東アジアにおける社会保障・福祉国際交流会議
7	清華東アジア文化講座	中国	05.04.01～ 06.03.31	清華東アジア文化講座
8	中国青島東アジア法研究会	中国	05.09.20～ 05.09.30	東アジアにおける法運用の実態と判例-東アジアFTAおよびEACにおける紛争処理システムの構築を目指して-
9	北京大学市民社会とNPO研究センター	中国	05.10.22～ 05.10.23	「転換期中国市民社会の発展-国際的視角から」国際シンポジウム
10	華東政法大学	中国	05.11.03～ 05.11.06	第三回環境汚染紛争処理中日国際ワークショップ
11	同済大学アジア太平洋研究センター	中国	05.11.26～ 05.11.27	「中日協力の新たな分野と課題：環境・エネルギー・安全保障」国際シンポジウム
12	香港大学アジア研究センター	(香港)	05.12.08～ 05.12.09	アジアのリージョナリズム フェーズ1：アジアにおけるガバナンスとリージョナリズム (3年事業の1年目)
13	南アジア諸国地域協力連合研究調査会	日本	04.04.01～ 06.03.31	核の緊張に揺れる南アジア地域の域内安定と信用醸成をめざす連続対話セミナー
14	「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD-J) 事務局	日本	04.11.01～ 05.12.31	アジア・大洋州域が連携して「持続可能な開発のための教育」(ESD)を推進していくためのアジア太平洋地域ネットワーク会議
15	中部大学	日本	05.04.01～ 05.07.10	アジア太平洋人間の安全保障・地球市民フォーラム-多文化共生・ジェンダーの平等・安全都市ネットワーク-

アジア・大洋州交流事業費

	団体	国	期間	事業内容
16	聖学院大学総合研究所	日本	05.04.01～ 06.03.31	日韓中学術セミナー「北朝鮮の改革可能性－中国の改革との比較を中心に」
17	言論NPO	日本	05.04.01～ 06.03.31	日中シンポジウム「日中関係構築に何が妨げになっているか」
18	中日学術交流センター	日本	05.04.01～ 06.03.31	中国同盟会設立100周年記念国際シンポジウム－日中関係への回顧と展望－
19	東京大学東洋文化研究所猪口孝研究室	日本	05.04.01～ 06.03.31	連邦制を使用したアジアの民主化の可能性を追及する会議
20	アジア民衆史研究会	日本	05.04.01～ 06.03.31	日韓民衆史研究ワークショップ
21	国際貿易投資研究所公正貿易センター	日本	05.05.01～ 05.12.31	WTO設立10周年記念国際シンポジウム－WTOドーハラウンドとアジアの役割
22	SVNジャパン	日本	05.05.01～ 06.01.31	第3回SVNアジア会議
23	スマイルクラブ	日本	05.06.01～ 06.03.31	アジアにおける知的障害者の社会的自立へ向けた支援プログラムに関するワークショップ
24	マハーラーシュトラ研究会	日本	05.08.22～ 05.08.24	第11回国際マハーラーシュトラ会議
25	中国朝鮮族研究会	日本	05.09.17～ 05.09.18	北東アジア地域統合に向けての市民交流ネットワーク形成
26	「満蒙開拓団」調査研究会	日本	05.09.20～ 05.09.22	朝鮮満洲移民の生活と文化
27	子供研究・保護センター	インドネシア	05.04.01～ 06.03.31	インドネシアからマレーシアへの性的搾取を目的とした子供の人身売買に対するガイドライン作成ワークショップ
28	インドネシア科学院地域リソース研究センター	インドネシア	05.05.01～ 06.01.31	東南アジアにおける持続可能な開発に向けて：森林管理からエコ・ツーリズムへ
29	東南アジア教育省連合－考古学・芸術センター	タイ	05.04.01～ 06.03.31	文化と開発に関する国際会議
30	コンケン大学紛争解決研究所	タイ	05.04.01～ 06.03.31	紛争解決研修事業
31	国際移民機構	タイ	05.09.01～ 05.11.30	メコン地域の移民問題に関する実務家とメディアの対話
32	プローブ・メディア財団	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	「私達のメコンを描く」フェローシップ－社会経済変革の時期のメコン流域における地域共通課題についてのドキュメンタリー制作研修とフォーラム



	団体	国	期間	事業内容
33	アジア・アクト・アゲインスト・チャイルド・トラフィッキング	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	東南アジアの人身売買－被害児童の取扱いと人権に関する基本原則とガイドラインの取りまとめ－
34	地方行政学院	フィリピン	05.06.01～ 06.05.31	地方行政における伝統的知識システムの活用（第2フェーズ）
35	フィリピン調査報道センター（PCIJ）	フィリピン	05.07.01～ 06.01.31	東南アジアの放送ジャーナリストのための調査報道研修講師育成セミナー
36	世界経済政治研究院	ベトナム	05.04.01～ 06.03.31	拡大メコン地域研究ネットワークの構築
37	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学	ベトナム	05.09.01～ 05.09.30	東アジア共同体に向けて：好機と挑戦
38	マレーシア科学大学教育学部	マレーシア	05.04.01～ 05.10.31	東南アジアと日本における、科学の概念理解に対する文化の影響について
39	サラワク州立図書館	マレーシア	05.04.01～ 06.03.31	ボルネオ島に関する情報収集と利用に関する共同プロジェクト－文化的・歴史的書誌資料情報のデジタル化
40	持続可能な開発のためのIDMA財団	インド	05.04.01～ 06.03.31	南アジアにおける環境報道の強化
41	平和・紛争問題研究所	インド	05.04.01～ 06.03.31	南アジアにおける人間の安全保障論争の再検討
42	インド文化財団	インド	05.05.01～ 06.03.31	アジアにおける芸術教育－協力体制の構築とネットワークキング
43	ビジネスコミュニティー財団	インド	05.05.01～ 06.03.31	アジアにおける企業の社会的責任－現況と将来の展望
44	公共問題センター	インド	05.06.01～ 06.03.31	南アジアにおける市民社会と民主主義制度－市民参画、経済開発と地域平和
45	オーストラリア・ペン・センター	オーストラリア	05.05.01～ 06.03.31	世界調和のための創造的戦略国際会議－国境を越えて

3. 催し等事業費 (4) 知的交流会議等開催（企画参画助成）（A C）〔ア〕

アジア地域における相互理解の促進と共通に抱える課題の解決に向けて、会議・ワークショップなどの国際的な共同作業を企画、支援する。

合計額 24,279,757円

	団体	国	期間	事業内容
1	東京視点	日本	05.04.01～ 06.03.31	日中の若者が市民レベルの独自の視点で日中間の文化・社会に関するドキュメンタリー映像作品制作、上映

## アジア・大洋州交流事業費

	団体	国	期間	事業内容
2	アジア・ヒューマン・コミュニティ設立準備委員会	日本	05.04.01～ 06.03.31	アジア・ヒューマン・コミュニティ
3	接続可能な開発財団（タイ）Sustainable Development Foundation Thailand	タイ	05.09.01～ 05.10.14	津波アジア国際NGO会議
4	アジア太平洋フィランソロピー協会	タイ	05.11.01～ 05.12.31	災害時の社会貢献活動－津波とその後
5	戦略開発研究所	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	日本・アセアン・パートナーシップ「東アジア共同体構築に向けて」
6	ブータン研究センター	ブータン	05.11.01～ 06.03.30	グロス・ナショナル・ハピネス・プロジェクト物資的豊かさの日本・ブータン比較研究

### 3. 催し等事業費 (5) 知的交流会議等開催（主催）（A C）〔ア〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより綿密な関係の構築、地域に共通する課題や世界的規模の課題の解決に向けて、会議・ワークショップなどの知的共同事業を実施する。

合計額 16,240,572円

	事業名	国	期間	事業内容
1	日中韓次世代リーダーフォーラム2005	中国	05.07.17～ 05.07.27	日本、中国、韓国の将来のリーダー同士の信頼関係を強化し、対話の機会を作ることを目的として、政・官・学・財・メディアの各分野の若手リーダーが寝食をともにしながら、参加者同士が討論・意見交換、文化施設等の訪問を行なった。2005年の第3回フォーラムは愛知県、北京、ソウルで開催され14名が参加。韓国国際交流財団、中華全国青年連合会との共催
2	日韓ワークショップ	日本	05.12.01～ 05.12.31	市民が交流の主役となった日韓関係の今後の展望について、日韓の各界有識者を招いて「交流時代の課題と可能性」をテーマに公開・非公開セミナーを開催。韓国の経済・人文社会研究会との共催

3. 催し等事業費 (6) アジア地域研究センター支援（催し等）（A C）

アジア域内の知的ネットワーク強化のための地域研究センター支援事業を実施する。

合計額 23,753,426円

	団体	国	事業内容	
1	東南アジア研究地域交流プログラム	SEASREP財団	フィリピン	東南アジア諸国における人文社会科学分野の東南アジア研究者間の相互理解の促進とネットワーク構築を目指し、国際交流基金、財団法人トヨタ財団およびSEASREP評議会の3者が共同して3つの助成プログラムを運営すると共に評議会主催事業（10周年記念会議等）を実施

3. 催し等事業費 (7) 沖縄国際フォーラム

アジア太平洋地域の共通課題などに関する国際的な対話フォーラム、シンポジウムを沖縄における国際的な知的交流事業の一環として行なう。

合計額 14,859,152円

事業名	国	期間	事業内容
1 平成16年度報告書	全世界区分困難	05.04.01～06.03.31	平成16年度に実施した沖縄国際フォーラムの報告書刊行
2 アジア・パシフィック・ユース・フォーラム2006沖縄	全世界区分困難	06.01.14～06.01.24	日本を含む9カ国18名の若手リーダーが沖縄に集合し、「多面的社会と共生－地球市民への挑戦－」をテーマに合宿型討論を行なうとともに公開セミナーを開催。沖縄県内でのフィールドトリップ、県民との交流会も実施

4. 文化資料事業費 (1) 図書寄贈〔ア〕

日本に関する理解・研究を促進するため海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書などを寄贈。

合計額 26,148,897円

国名	機関名	送付部数（冊）	合計額
1 韓国	世宗研究所日本研究センター	29	292,474
2 韓国	釜山韓日文化交流協会図書室	61	168,257
3 韓国	光云大学校日本学科	54	307,336
4 韓国	中央大学校韓日文化研究院	41	220,089
5 中国	マカオ大学日本研究センター	31	468,955
6 中国	香港城市大学邵逸夫図書館	86	614,955
7 中国	黒竜江省図書館	44	540,684

## アジア・大洋州交流事業費

	国名	機関名	送付部数 (冊)	合計額
8	中国	吉林省図書館	77	479,932
9	中国	ShenZhen Polytechnic	159	457,207
10	中国	華南師範大学外国語言文化学院	84	378,485
11	中国	広東工業大学外国語学院日本語学部	102	382,983
12	中国	江西財経大学外国語学院	89	450,056
13	中国	北京聯合大学旅遊学院日語旅遊文科系	118	411,531
14	中国	西安交通大学日語系	42	153,667
15	中国	天津財経大学経貿外国語学部	139	448,346
16	中国	清華大学日本研究センター	35	490,947
17	中国	清華大学歴史系	27	465,727
18	中国	安徽技術師範学院外語系日語教研室	22	70,982
19	中国	浙江工商大学日本文化研究所	51	342,374
20	中国	華東師範大学図書館	105	535,708
21	モンゴル	モンゴル科学アカデミー国際研究所	57	159,069
22	インドネシア	国立サムラトランギ大学文学部	87	392,947
23	インドネシア	スラバヤ国立大学日本研究センター	47	366,908
24	インドネシア	ドクターストモ大学日本語学部	34	236,972
25	インドネシア	じゃすみん	124	880,392
26	インドネシア	国立北スマトラ大学社会科学部	33	425,071
27	インドネシア	インドネシア大学人文学部日本研究科	31	222,655
28	インドネシア	国立イスラム大学イスラム・社会研究センター	123	877,109
29	インドネシア	アル・アザール・インドネシア大学図書館	123	877,109
30	インドネシア	ウダヤナ大学文学部	50	353,339
31	インドネシア	パジャジャラン大学文学部	83	216,431
32	シンガポール	シンガポール国立図書館委員会	32	408,744
33	シンガポール	シンガポール国立大学中文図書館	1	362,670
34	フィリピン	フィリピン大学アジアセンター図書館	36	402,285

	国名	機関名	送付部数(冊)	合計額
35	フィリピン	ミンダナオ国際大学	23	413,160
36	フィリピン	デ・ラ・サール大学ダスマリニャス校	50	555,392
37	ブルネイ	ブルネイダルサラム大学図書館	24	317,326
38	ベトナム	ベトナム国立図書館	123	877,109
39	ベトナム	ホーチミン市総合科学図書館	123	877,109
40	ベトナム	ハノイ人文社会科学東洋学部日本学科	129	449,191
41	マレーシア	マレーシア科学大学社会科学部国際関係センター	65	412,590
42	マレーシア	トゥン・アブドル・ラザク大学図書館	123	877,109
43	ミャンマー	パゴー大学歴史学部	34	269,310
44	ミャンマー	東ヤンゴン大学	31	279,677
45	ラオス	ラオス国立大学中央図書館	39	306,198
46	インド	印日福祉文化協会	7	60,251
47	インド	ジャワハルラルネルー大学図書館	29	539,994
48	インド	バンガロール大学外国語学部	42	342,328
49	インド	印日商工会議所	31	508,731
50	インド	ABK・AOTS同窓会タミルナドゥ支部	51	311,004
51	ネパール	トリブバン大学図書館	35	403,041
52	パキスタン	National Institute of Public Administration (NIPA) Karachi, Pakistan	34	447,840
53	パキスタン	コハート科学技術大学図書館	46	536,440
54	パキスタン	パキスタン国立図書館	18	131,732
55	バングラディッシュ	ビッショ・シャヒット・ケンドロ(世界文学機関)	50	346,422
56	バングラディッシュ	チッタゴン日本アカデミー	17	294,138
57	オーストラリア	シドニー大学図書館	3	440,644
58	オーストラリア	ラ・トローブ大学図書館	19	222,191
59	ニュージーランド	カンタベリー大学図書館	40	130,833

アジア・大洋州交流事業費

	国名	機関名	送付部数 (冊)	合計額
60	ニュージーランド	オークランド大学 (ニュージーランド)	36	441,629
61	パプアニューギニア	パプア・ニューギニア大学インフォメーション・リソース・センター	123	884,469
62	フィジー	南太平洋大学図書室	51	610,643